

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 2 月 9 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏 名	松崎 朱芳
研究課題	都市外縁部における交通の現状と課題				
研究キーワード	交通政策、地域政策、地理情報システム	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	11. 住み続けられるまちづくりを	16. 平和と公正をすべての人に	

1. 研究成果の概要

日本における交通の経済学・経営学的な研究は、地域という区分ではやや希薄であった。その中で都市や地方という地域の区分に基づく研究はこれまでもいくつか見られていたが、さらに細分化した都市外縁部という地域に着目した研究を行った。

2023 年度は都市中心部、都市外縁部の双方における交通の現状と課題を明らかにするために GIS（地理情報システム）、現地調査、そして文献調査により千葉県を事例と研究を行った。具体的には GIS を用いて千葉県の JR 路線における新型コロナウイルスまん延前後の輸送人員の動向を地理的に明らかにしたほか、千葉県におけるバス事業者の企業形態の変化について経営学的に分析を行った。

こうした研究の成果は、論文 2 本として示すことができた。2023 年度の成果は、他に国内外の論文への投稿、学会報告を通して示していく予定である。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

特になし

【著書・論文（査読なし）】

松崎朱芳 (2023) 「日東交通における組織形態の変遷—分社化と再統合の視点から」『交通と統計』第 73 号 pp.60-71 一般財団法人交通統計研究所.

松崎朱芳 (2023) 「千葉県における JR 路線の新型コロナウイルスによる影響に関する一考察」『コロナ後の地域公共交通の維持に向けた取り組み策と検証』日交研シリーズ A-888 pp.38-65 公益財団法人日本交通政策研究会.

【学会発表等】

特になし

3. 主な経費

- ・研究にあたり、ArcGIS のソフトウェアの更新を行った。
- ・学会参加に当たり、出張を行った。
- ・研究に関わる図書を購入した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし

（本文は 2 ページ以内にまとめること）